

船舶衝突事故について(事故対策本部)

(第 27 報) 平成 19 年 2 月 6 日(火)17 時 30 分

1 土庄町災害対策本部から、次のとおり報告がありました。

本日 14 時 30 分、土庄町役場において、小豆島海上保安署、香川県関係各課(所)、土庄町関係各課、小豆地区消防本部の出席のもと、流出油事故対策関係機関連絡会議を開催し、今後の対応について協議した結果、土庄町災害対策本部を流出油連絡調整室に切り替えた。

2 県の対応

土庄町の対応を踏まえ、本日、香川県事故対策本部を解散し、今後は、通常の危機管理体制で対応することとする。

タンカー重油流出事故にかかる経緯について

日付	内 容
11月28日 (火)	豊島北西海域で、貨物船とタンカー昭星丸 (積荷C重油 307kL 燃料油 6kL 搭載) の衝突事故発生 (17:45頃)。
11月29日 (水)	タンカーはタグボートに曳航され、土庄町室崎から南南西約 1キロの海上付近に到着。
	土庄町が災害対策本部を設置。
	タンカーの船固め作業が終了し、積荷C重油の抜き取り作業を開始。
11月30日 (木)	香川県事故対策本部を設置。
	タンカーのタンク亀裂封鎖作業の開始。
12月1日 (金)	玉野海上保安部が貨物船の一等航海士及びタンカー船長について業務上過失往来危険の疑いで書類送検。
	県が環境影響調査 (水質・底質・大気) を実施。
	タンカー積荷のC重油の抜き取り作業完了。
12月2日 (土)	タンカーの燃料油の抜き取り作業が完了し、多度津町のドックに曳航。
	土庄港、フェリー埠頭での浮流油吸い取り作業は9割完了。
12月3日 (日)	土庄港内の重油の大きな固まりの回収はほぼ完了。 浮流油は、ほぼ土庄港内及び土渚海峡内に絞られてきた。
12月4日 (月)	主な海上浮遊油の回収の終了。
	土庄港護岸等の付着油の洗浄作業の開始。
12月5日 (火)	(洗浄作業の継続)
12月6日 (水)	土庄港外の護岸等の洗浄作業の開始。
	ノリの撤去作業の開始。
12月7日 (木)	(洗浄・撤去作業の継続)
12月8日 (金)	県が環境影響調査 (水質・底質・大気) の結果を発表。
12月9日 (土)	県内産新ノリの初入札。
12月10日 (日)	(洗浄・撤去作業の継続)
~12月12日 (火)	
12月13日 (水)	回収重油及び油性ごみの搬出の開始。
12月14日 (木)	(洗浄・撤去作業の継続)
~12月24日 (日)	
12月25日 (月)	ノリの撤去作業の完了。
12月26日 (火)	(洗浄作業の継続)
~12月28日 (木)	
12月29日 (金)	(洗浄作業の一時中断)
~1月8日 (月)	
1月9日 (火)	洗浄作業の再開。
1月10日 (水)	(洗浄作業の継続)
~1月29日 (月)	
1月30日 (火)	洗浄作業をひとまず完了。土渚海峡のオイルフェンスを撤去。
2月6日 (火)	土庄町災害対策本部を流出油連絡調整室に切替。